

製品名: リン酸化 RSK1 p90 (Thr573) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87110**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF
反応性	人間
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:100-1:500
分子量	Calculated MW:83 kDa; Observed MW:90 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-RSK1 p90
別名	RSK; HU-1; RSK1; p90Rsk; MAPKAPK1A
遺伝子 ID	6195
SwissProt ID	Q15418
免疫原	ヒト RSK1 p90 の Thr573 を囲む残基に対応する合成リン酸化ペプチド

背景

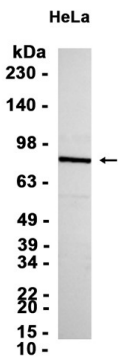
この遺伝子は、セリン/スレオニンキナーゼである RSK（リボソーム S6 キナーゼ）ファミリーのメンバーをコードしています。この

キナーゼは2つの非相同なキナーゼ触媒ドメインを有し、マイトジェン活性化キナーゼ (MAPK) シグナル伝達経路のメンバーを含む様々な基質をリン酸化します。このタンパク質の活性は、細胞の増殖と分化の制御に関与していることが示唆されています。異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエントが特徴付けられています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

-

画像データ



ホスホ RSK1 p90 (Thr573) ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。